

NBC - 文京学院大学・包括提携協定

＜2019年度総括＞

（会議資料）

《目次》

- 総括
 - 「起業と事業創造」受講学生向けアンケート調査結果
 - ① アンケート調査実施時期
 - ② 母集団データ
 - ③ 特別講師の講義についての感想
 - ④ 共通設問に関する履修意識の変化
- ※ 付属資料

2020.3.19

■NBC－文京学院大学の起業家教育

1. 包括提携協定の概要(2007.11.15締結)

(目的)

ニュービジネス育成やアントレプレナー養成及び主としてマネジメント領域の学術研究の発展、さらに関連する施策の推進のため相互協力を図り、産業界における新たな人材の育成と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(共同事業推進の領域と具体的な内容)

- ・領域:主として「ニュービジネス育成」「アントレプレナー養成」「ビジネス・インキュベーション推進」等の諸領域での共同事業の推進
- ・具体的内容:
 - ①経営学部開講科目<『起業と事業創造』『ビジネスモデルと事業戦略』>の共同運営化(NBCの冠講座化)
 - ②ニュービジネス育成、アントレプレナー養成等に関する共同事業・共同研究の推進
 - ③その他

2. 文京学院大学の起業家教育の特徴

- ・『起業家精神の醸成とその具現化』に起業家教育のミッションを設定しており、より具体的には以下の5つの要素を指導内容の基本とし、あわせて2つの要素を追加の補助的なミッションとしている。

(指導内容の基本)

- 『変化する環境への的確な認識の保有』
- 『事業機会の探索と発見』
- 『何らかの際立った特異性の創出』
- 『それを実現していく仕組みとビジネスモデルの創出』
- 『あきらめずに最後まで実践する能力』

(補助的ミッション)

- 『教えるだけでなく支えていく』
- 『将来的に変革を起こそうとする人に対する基礎力の構築とその支援』

- ・その上で、高校卒業時まで何らの起業家教育を受けてこなかった学生の実情を加味しつつ、次の二つの教育を手がけようとしている。
 - 『学生のハートに火をつける作業としての起業家教育』
 - 『起業希望者、事業継承希望者向けの個別・専門的な起業家教育』
- ・本学の起業家教育を経産省の4類型にあてはめると、「アントレプレナーシップ涵養型」(全学を対象とした啓蒙型の起業家教育)と「経営スキル統合演習型」(学部指導仕上げ期のビジネスプラン策定演習型)の2つの類型の併存版であるといえる。

3. コラボレーションの主要な成果

- ★2009年に経済産業省からNBC冠講座が「起業家教育モデル講座」に認定され、ベストプラクティス事例集に掲載された。
- ★冠講座受講者(当方ゼミ生/以下同じ)から6名の起業家を輩出(男4名、女2名…うち男女各1名は留学生、海外起業家あり。)
- ★冠講座受講者から1名の大学専任教員を輩出(NBCとの産学連携教育の最初期の受講学生。専門領域は消費者行動論。)
- ★冠講座受講者から1名の地方公務員(東京特別区)を輩出。産業振興担当を夢見るが、今のところ、市民課勤務。
- ★コラボレーション萌芽期の受講学生は、すでに東証一部上場企業の課長(営業職)に昇格している者もいる。
- ★2019.12に第16回キャンパスベンチャーグランプリ東京大会にて、冠講座受講者より入賞者(奨励賞・オーディエンス賞)を輩出した。

■総括

(はじめに)

- NBC・本学間のコラボレーションは、協定締結後すでに12年を経過し、定着期を迎えております。そしてこの包括提携協定は、自動延長状態にあります。両者のコラボレーションは、「多種多様なメニューが有機的に統合されつつ展開されている、全国にも類を見ないユニークな起業家教育の試み」として産業界、学界そして経産省等からも高い評価を得ているものであり、精力的かつ献身的なご協力を賜っているNBCの皆さまに対し、本学関係者を代表して、改めて厚くお礼申し上げます。
- 今回の2019年度総括に関しては、これまでと同様、ある程度の定量的データを加味しつつ、そして時系列的な学生の起業マインドの醸成動向を確認しつつ、まとめの作業を行いました。過年度までの結果と大きな差異は見られません。総じて、起業に関心を寄せる学生数が増加していることが指摘できるとともに、冠講座に関しては、「起業」を自らのキャリアの可能性のひとつとして認識し始めるようになる効果を有していることが見て取れました。また、導入教育→インターンシップ→ビジネスプラン演習というステップによる起業意欲の醸成は、NBC企業での長期インターンシップとあわせて、本学経営学部が保有する極めて良質の教育プログラムとなっております。特筆すべきは、この起業家教育から、初めてハイレベルのビジネスプラン・コンテストに入賞者を輩出したことです。ちなみに当人は本学のこの起業家教育システムに魅力を感じて入学し、ちゃんと元を取って卒業。卒業と同時に起業するとともに、すでにエンジェル投資家からの出資も受けております。

(冠講座運営)

- この「NBC冠講座」の運営は12年間のコラボレーションの中核部分であります。すでに豊富な実績が蓄積され、NBCと本学の双方にとって、大きなPR素材となっており、かなりの社会的認知も得られるようになってきたと思っております。
- 『起業と事業創造』(2年生後期配当科目…起業マインドの醸成と起業の基礎知識の指導)、『ビジネスモデルと事業戦略』(3年生後期配当科目…ビジネスモデル構築に関する講義とビジネスプラン作成演習)という2科目の冠講座が設定されていますが、今年度の『起業と事業創造』に関しては、「起業マインドの保有」、「ニュービジネスの創出」、「事業継承」そして「出口戦略」という要素を強調し、3人のNBC会員にお越しいただき、そしてあわせて本学OGのゲスト1名を“卒業生登場”ということで追加しております(今期はフランチャイズ起業に精通したコンビニ業界の管理職を招聘)。総じて、受講学生向け調査結果からは、起業家教育の進行につれて、起業等に関する興味関心も高まりを見せていったことが明らかとなっております。
- 今期は履修要件を厳しくしたため、受講学生が約50名と半減いたしました。現実経営に強い関心を持つ学生の履修が目立ったことも確かです。
- 今期はまず、アートグリーン(株)代表取締役の田中豊氏に起業の醍醐味を熱く語っていただき、次いで(株)ベアーズ副社長の高橋ゆき氏より業界そのものの創造と自社事業周辺のニューサービス展開の可能性を、さらにNBC非会員ながら(株)OKANの沢木恵太社長には自らの起業からそのユニークなビジネスモデル開発に至るまでを講じていただいた。受講生からの質問も出て、タイムリーでエキサイティングなメニューとなったことをありがたく思っています。
- 冠講座の運営に際しては、学生からのウケを狙うということは念頭に置いておらず、厳しさも的確に伝えることとし、「良薬は口に苦し」であっていいと思っており、そして「起業を今後のキャリアの選択肢のひとつとして加味するきっかけをつくる」「卒業後にハタと気がつく」内容の講義を皆様に求めたいと思っております。以下に記載してある招聘講師に対する評価(学生の感想等)については、お気遣い無きようお願い申し上げます。

- NBC会員企業以外の人物(本学卒業生)を1名、講師として加味させていただくことにご理解を賜っていることをありがたく思っており、起業意欲を持つ学生にとって登場する本学卒業生は、学内の良きロールモデル設定となっています。また、最近では本学卒の起業家がNBC会員から経営支援を受ける局面(アサヒ商会広瀬氏)も発生し、ありがたく思っております。
- 一方、『ビジネスモデルと事業戦略』に関しては、今年度は創業数年後という離陸期に位置する(株)スリールアークの井村久美社長に担当講師をお願いしました。受講学生はわずか4名でしたが、極めて成功裏に終了しています。この科目はアクティブ・ラーニングを志向し、ビジネスプラン作成演習が主たる内容となりますが、担当講師の負担が大きいため、今後も講師確保に苦労しそうです。
- なお、次年度の冠講座の特別講師は、目下のところ、選考途中にありますが、この人選に関しては、例年と同様、当方が起案し、NBC事務局のご了解のもとに打診をさせていただいております。ここ数年は、「事業内容とビジネスモデルが、学生に理解できそうな企業」を企業選定の有力指針としています。(『起業と事業創造』に関しては、次年度は松下運輸(株)の坂田生子社長の登壇がすでに確定しております。また『ビジネスモデルと事業戦略』に関しては、学生からのニーズもあり、NBC会員外企業ながら、他大学生とのコラボ実績のある軒先(株)の西浦明子社長にお引き受けいただきました。)

(インターンシップ全般)

- この12年間、NBCインターンシップは安定的かつ着実な実績を上げておりますが、起業家マインドを保持しつつ、精力的に自らインターンシップ先を開拓しようとする学生はごくわずかです。
- インターンシップ希望先の固定化傾向のようなものも見られ、いささか憂慮しておりますが、その一方、「学生独自のアプローチによるインターンシップ開拓」のような動きも発生し、そのターゲット企業はNBCの対象企業の枠を超えております。
- すべては適材適所を念頭に置いておりますが、最近では事業継承とインターンシップを関連付ける動きが特徴的であり、昨年度は家業の運輸業の事業継承を予定している学生が松下運輸(株)に、建築設計業を営む保護者とのパートナーシップ形成を夢見る学生が明成建設工業(株)へ、お世話になっております。そしてうち1名は、そのまま明成建設工業(株)に入社することとなりました。この場を借りて、西村社長に厚くお礼申し上げます。
- 起業家意欲を保有する学生には、「長期インターンシップ(社長のカバン持ち型インターンシップ)」への参画を奨励・誘導する方針であり、この長期インターンシップに関しては、主として「起業マインドを保有している学生」「明確なキャリアイメージを保有している学生」を派遣候補者として選定しております。今後とも、これまでと同様の発想での受け入れをお願いしたいと思っております。

(その他)

- 包括提携協定12周年を経過し、長年の懸案であった「コラボレーションの成果の表出(研究書の出版)」にNBCとしてご理解を賜っておりますが、自らの責任において個人的に取り組んでおり、今年中に関西系の出版社より刊行予定となっています。
- この報告資料は過年度分を含め、本学のホームページにアップされているほか、冠講座の開催記録も定期的に本学ホームページのトピックス欄に紹介しております。また、NBCホームページ内での活動記録掲載も適切になされております。

■「起業と事業創造」受講学生向けアンケート調査結果

下記2回にわたって、NBC冠講座「起業と事業創造」(2年生選択必修科目)の履修意識変化について調査を実施した。

①アンケート調査実施時期

・令和元年9月30日 履修意識調査(受講前)によるアンケート実施 回答数:51

◎10月21日 アートグリーン株式会社 代表取締役 田中 豊 氏

講義テーマ:『起業と事業創造の醍醐味』

◎11月11日 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 東北ゾーン総務マネジャー 川瀬 由紀子 氏(本学経営学部8期生)

講義テーマ:『フランチャイズビジネスとしてのコンビニエンスストア』

◎12月2日 株式会社ベアーズ 取締役副社長 高橋 ゆき 氏

講義テーマ:『業界そのものを新規創造する』

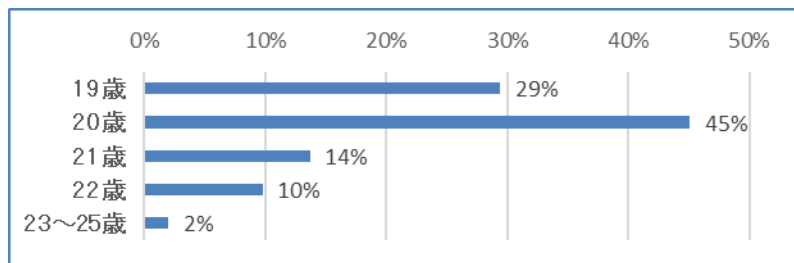
◎12月16日 株式会社OKAN 代表取締役 沢木 恵太 氏

講義テーマ:『サービス開発・事業拡大と資金調達』

・令和元年12月23日 履修意識調査(受講後)によるアンケート実施 回答数:42

②母集団データ＜全体＞ 令和元年9月30日実施の履修意識調査(受講前)より作成

＜1＞年齢 回答数:51(有効回答:51、無効回答:0)



＜2＞【性別】 回答数:51(有効回答:51、無効回答:0)

男28(55%)

女23(45%)

＜3＞【親戚や家族に起業家・経営者はいるか？】

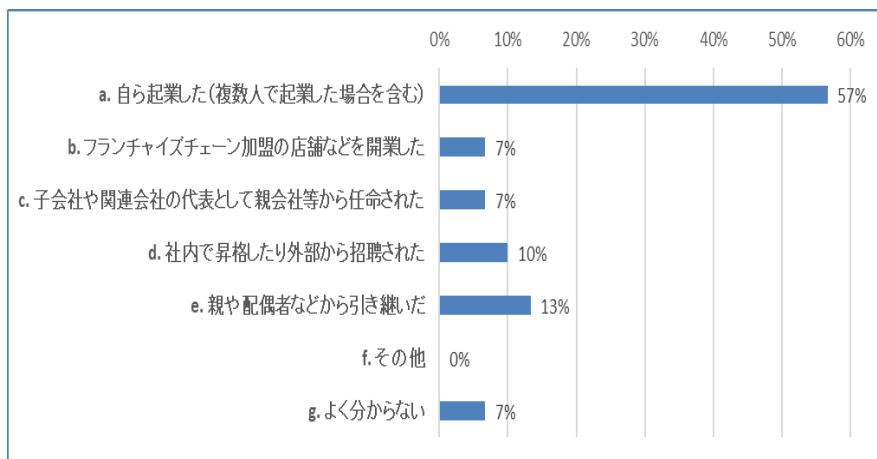
回答数:51(有効回答:51、無効回答:0)

有25(49%)

無26(51%)

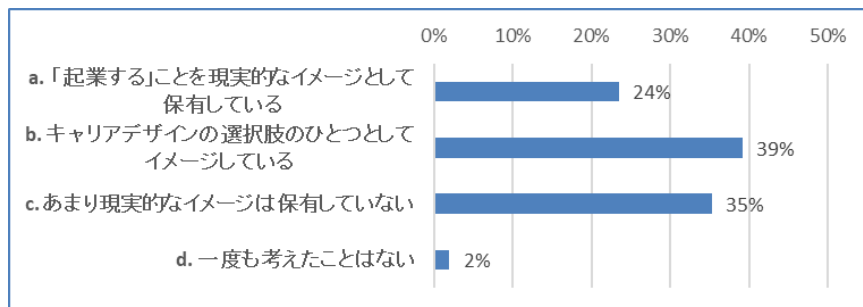
＜4＞【親戚や家族が起業家・経営者となった経緯】

回答数:25(有効回答:25、無効回答:0)



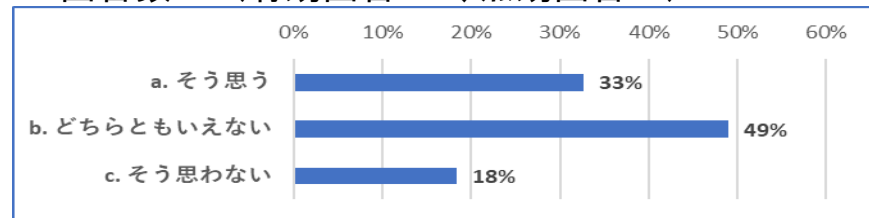
＜5＞【起業へのイメージ】

回答数:51(有効回答:51、無効回答:0)



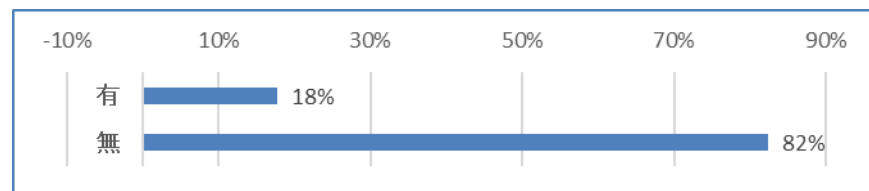
＜5＞【社長になりたいか？】

回答数:51(有効回答:51、無効回答:0)

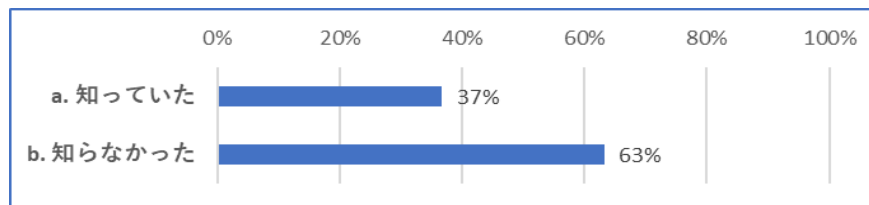


＜6＞【経営者の講義の聴講経験】

回答数:51(有効回答:51、無効回答:0)



回答数:51(有効回答:51、無効回答:0)



③特別講師の講義についての感想

アートグリーン株式会社
代表取締役 田中 豊 氏
講義テーマ
『起業と事業創造の醍醐味』

受講者: 45名(回答数: 39)

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
東北ゾーン総務マネジャー
川瀬 由紀子 氏(本学経営学部8期生)
講義テーマ『フランチャイズビジネスとしての
コンビニエンスストア』

受講者: 45名(回答数: 41)

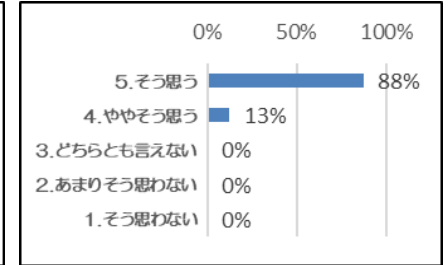
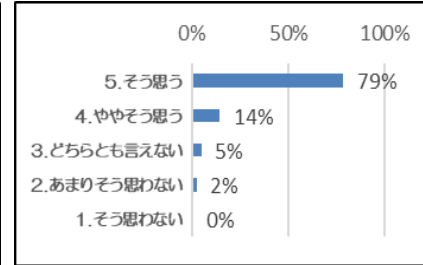
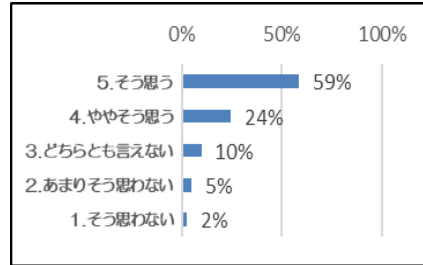
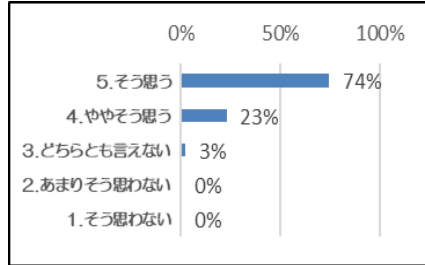
株式会社ベアーズ
取締役副社長 高橋 ゆき 氏
講義テーマ
『業界そのものを新規創造する』

受講者: 45名(回答数: 42)

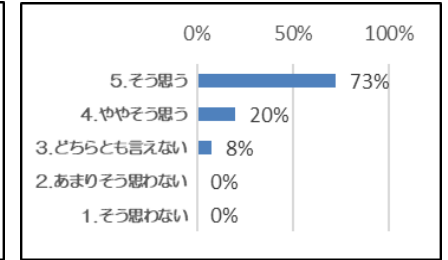
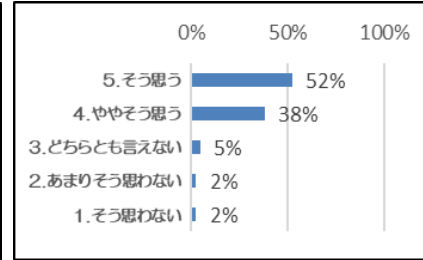
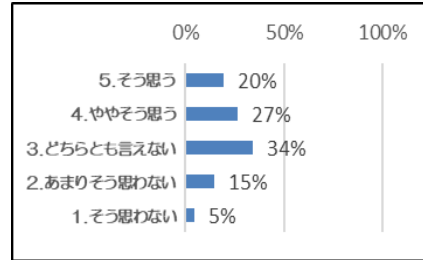
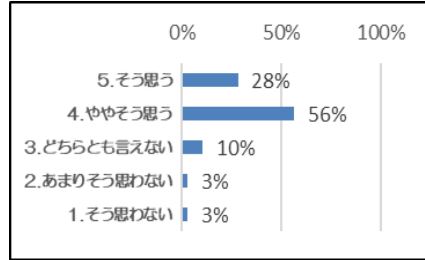
株式会社OKAN
代表取締役 沢木 恵太 氏
講義テーマ
『サービス開発・事業拡大と資金調達』

受講者: 42名(回答数: 40)

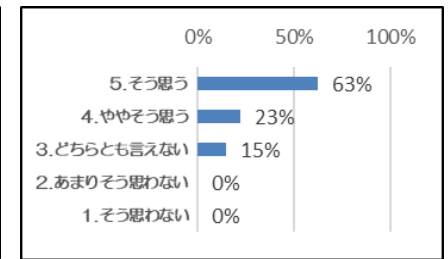
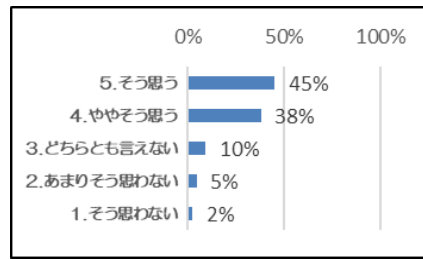
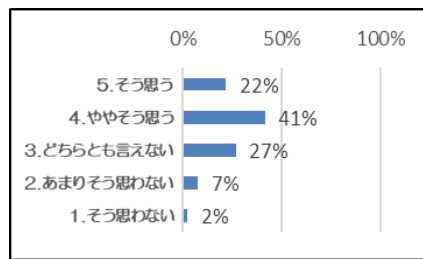
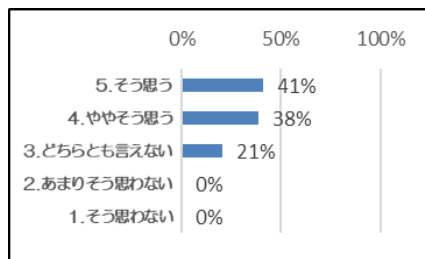
楽しかった



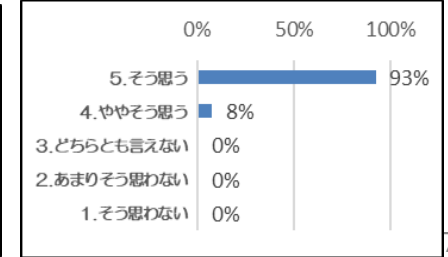
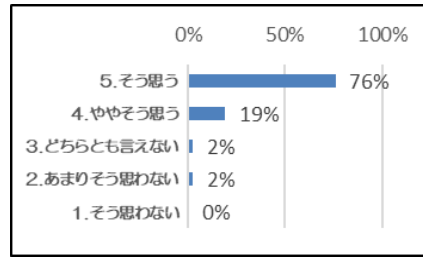
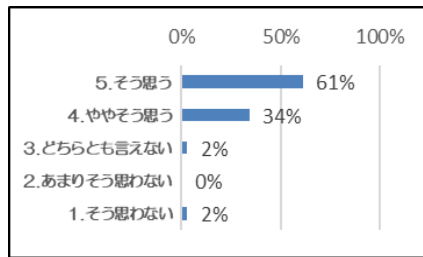
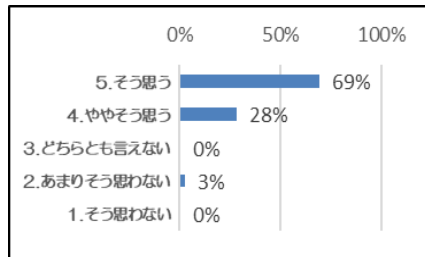
起業に対しての
イメージが
ガラッと変わった



大学の講義に対しての
イメージが
ガラッと変わった



勉強になった
理解できた



③特別講師の講義についての感想（男女比率）

■ 男 ■ 女 ■ 全体

アートグリーン株式会社
代表取締役 田中 豊 氏
講義テーマ
『起業と事業創造の醍醐味』

受講者：45名(回答数：39)

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
東北ゾーン総務マネジャー
川瀬 由紀子 氏(本学経営学部8期生)
講義テーマ『フランチャイズビジネスとしての
コンビニエンスストア』

受講者：45名(回答数：41)

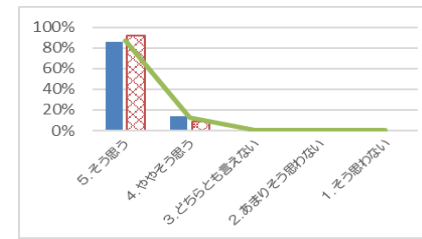
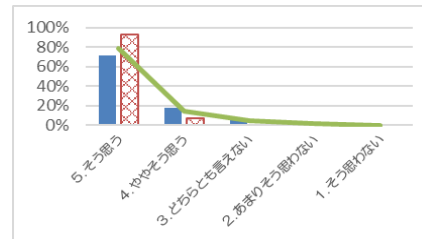
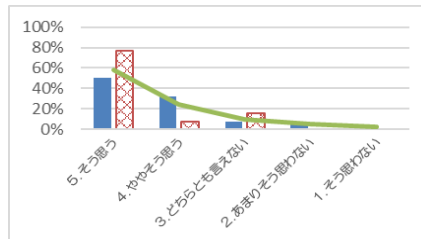
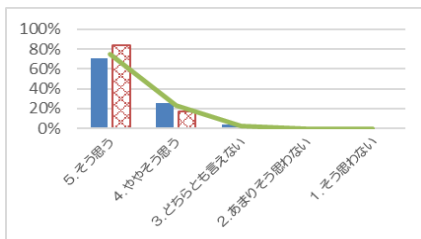
株式会社ベアーズ
取締役副社長 高橋 ゆき 氏
講義テーマ
『業界そのものを新規創造する』

受講者：45名(回答数：42)

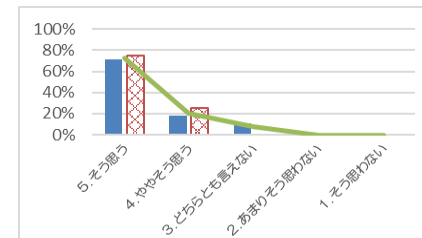
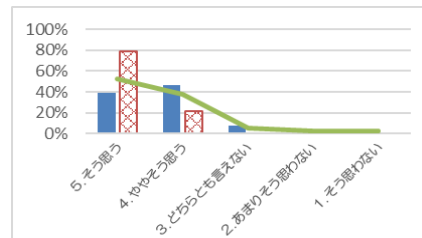
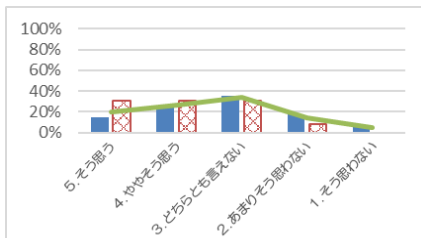
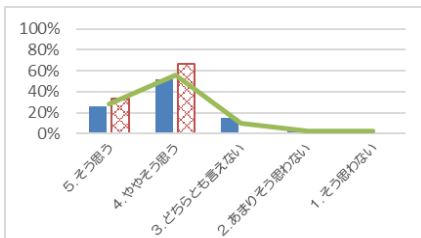
株式会社OKAN
代表取締役 沢木 恵太 氏
講義テーマ
『サービス開発・事業拡大と資金調達』

受講者：42名(回答数：40)

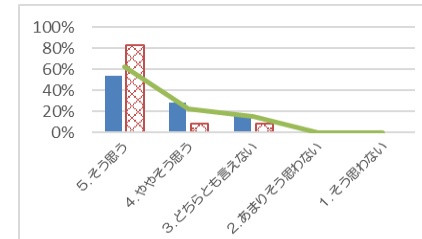
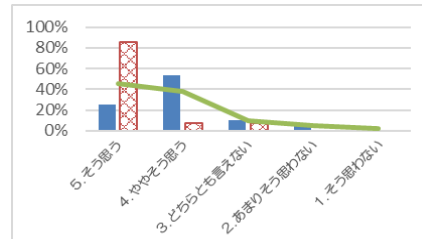
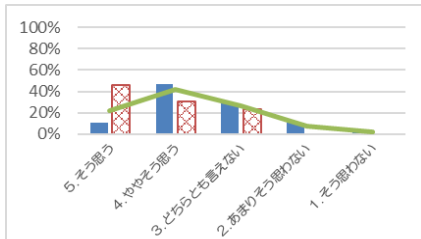
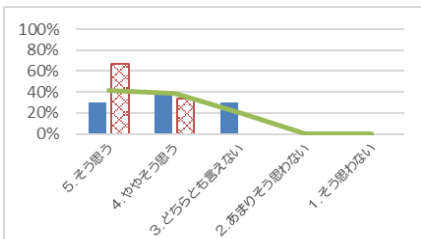
楽しかった



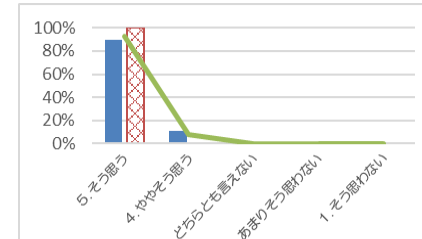
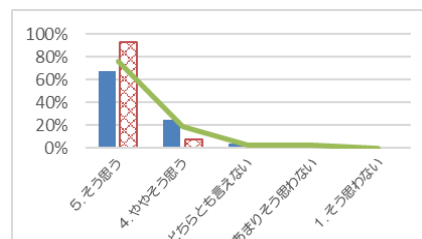
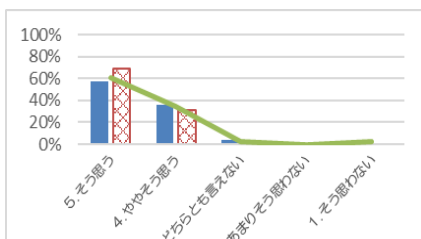
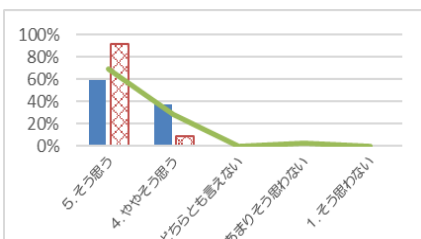
起業に対しての
イメージが
ガラッと変わった



大学の講義に対しての
イメージが
ガラッと変わった



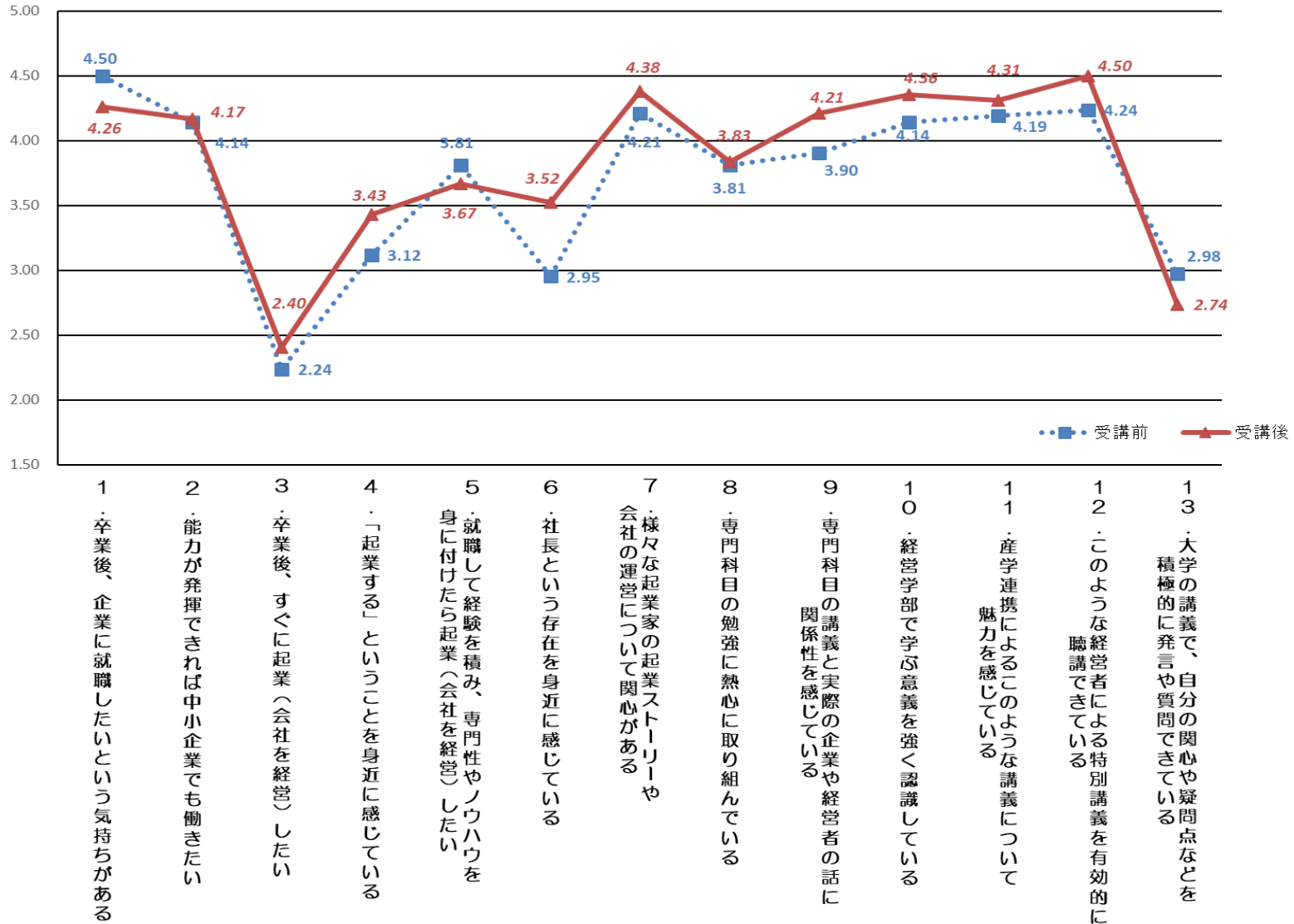
勉強になった
理解できた



④共通設問に関する履修意識の変化

(1-1)共通設問に関する全体の平均値の推移 (有効回答:42名)

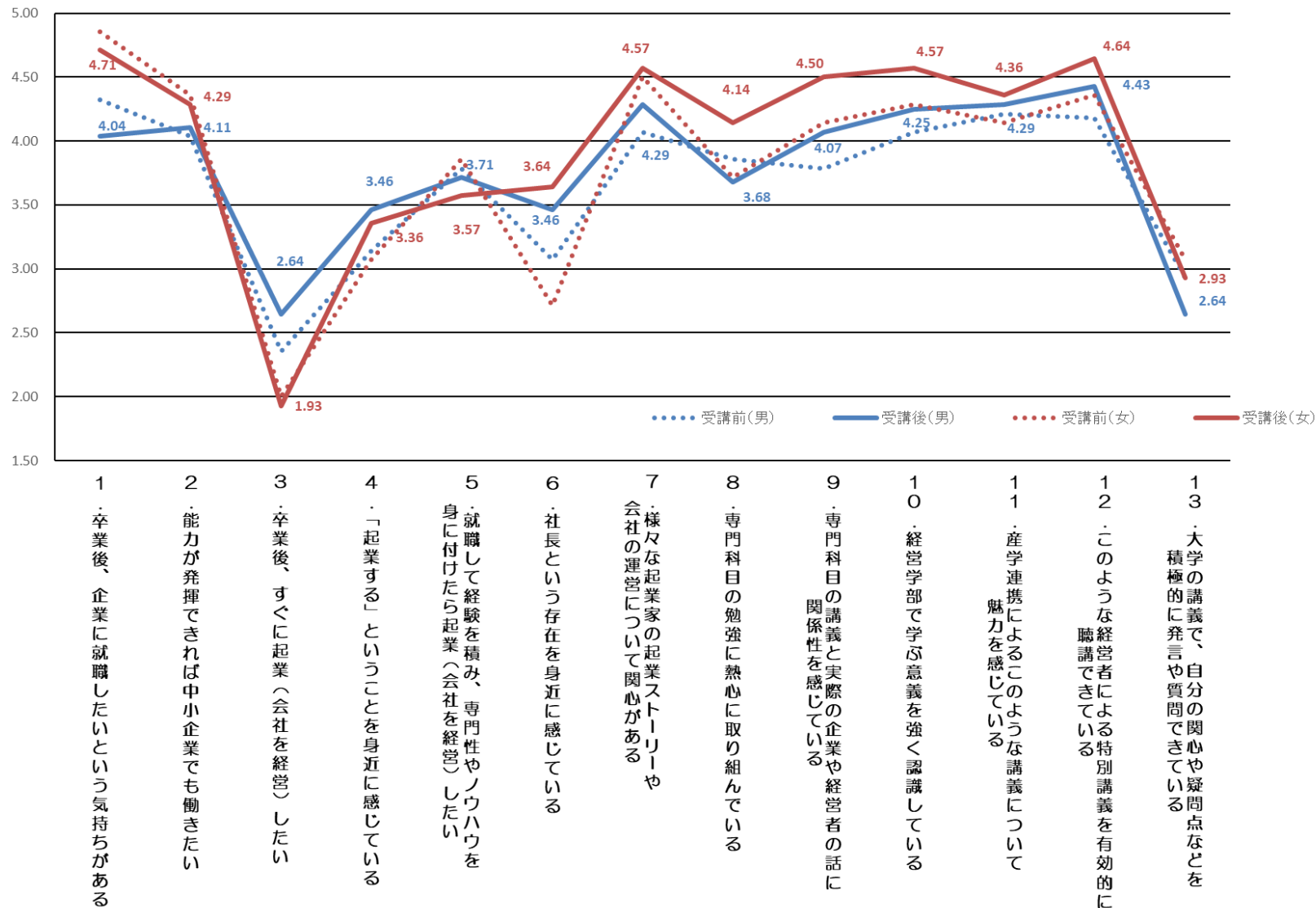
受講前に比べ、NBC冠講座受講後には、①起業に対する親近感が増し、②社長を身近な存在と位置づけるようになり、③産学連携教育に魅力を感じている。この傾向はこれまでと同様である。



④共通設問に関する履修意識の変化

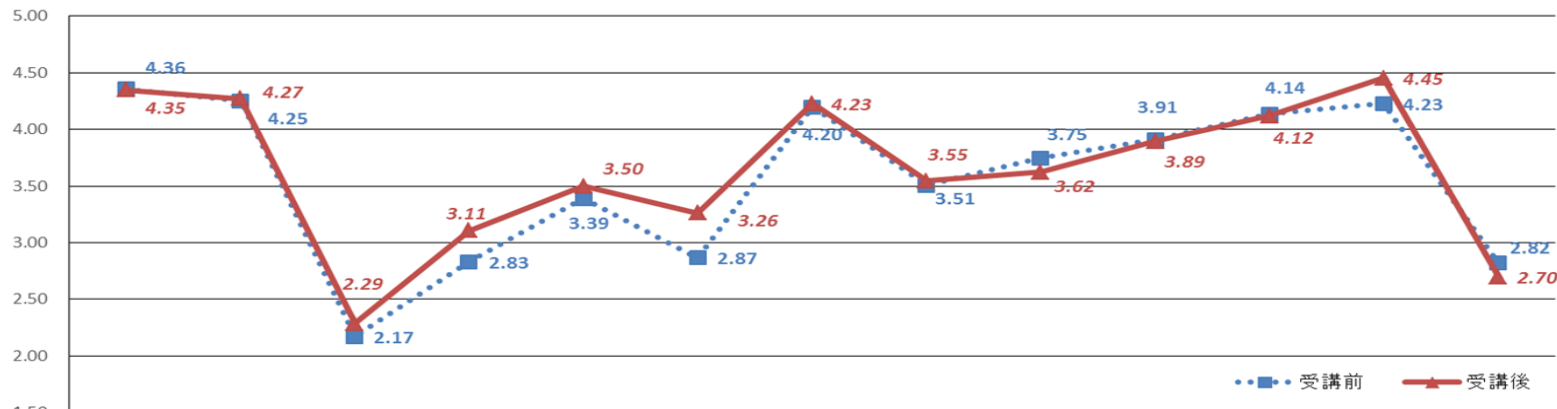
(1-2)共通設問に関する全体の平均値の推移 男女比率 (有効回答:男28名 女23名)

女子学生よりも男子学生の方がこの種の起業家教育に強い関心を示し、起業意欲も高まるが、勉学意欲に関しては女子学生に大きな影響を与えていることが分かる。

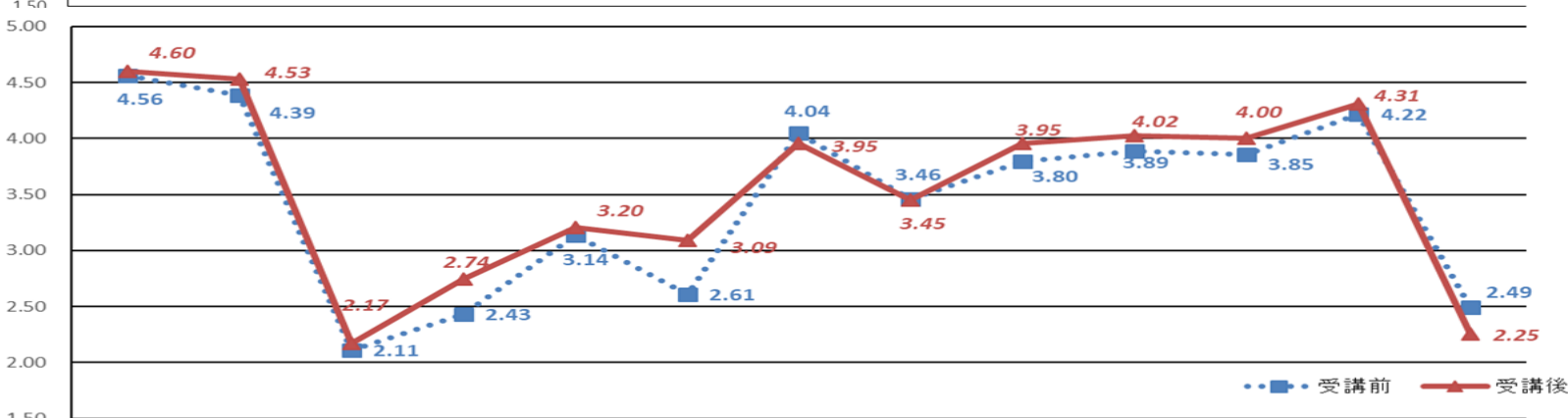


<参考>2017年度・2018年度のデータ(1-1)

2017年度



2018年度

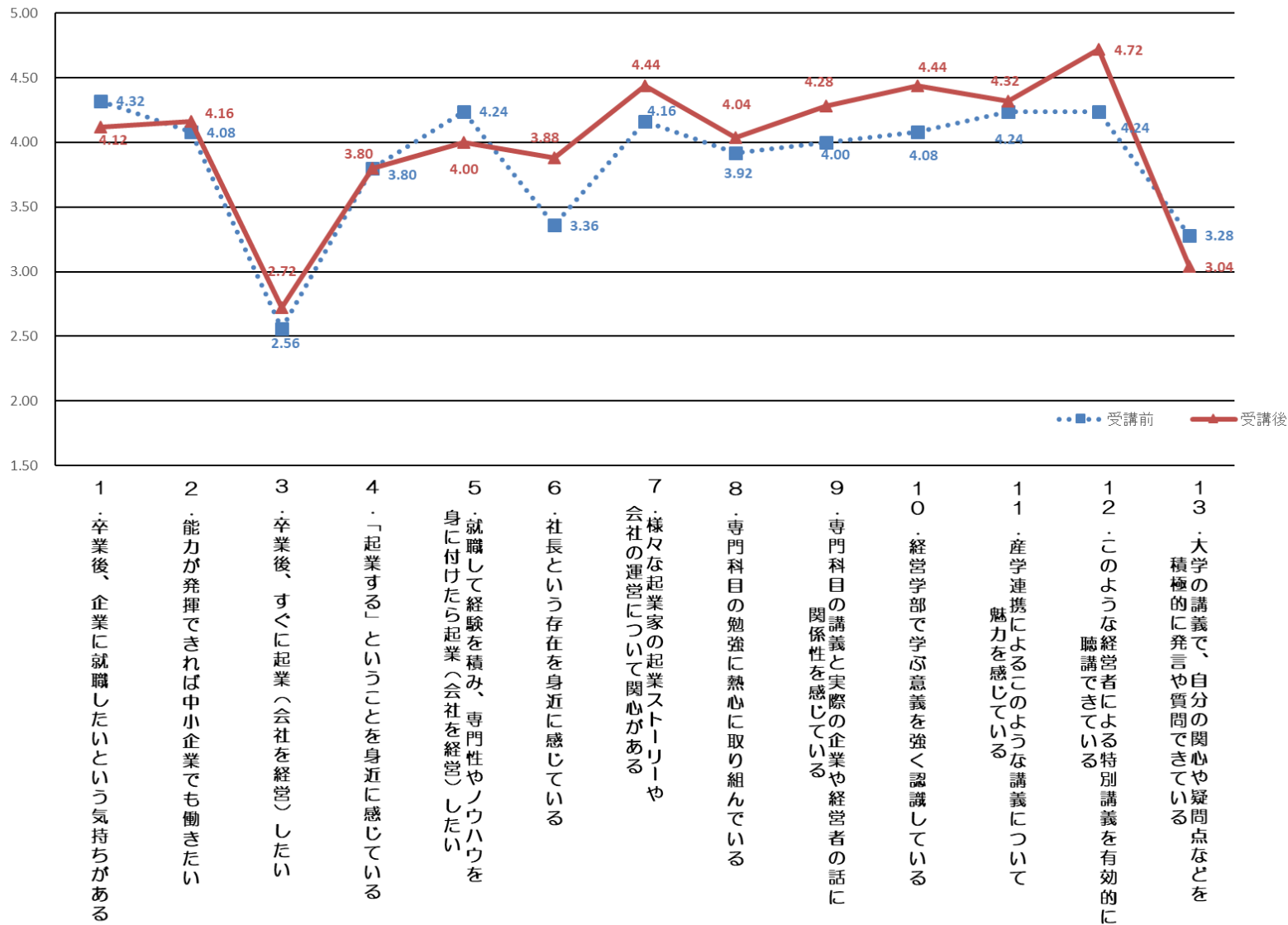


- 1 卒業後、企業に就職したいという気持ちがある
- 2 能力が発揮できれば中小企業でも働きたい
- 3 卒業後、すぐに起業(会社を経営)したい
- 4 「起業する」ということを身近に感じている
- 5 就職して経験を積み、専門性やノウハウを身に付けたら起業(会社を経営)したい
- 6 社長という存在を身近に感じている
- 7 様々な起業家の起業ストーリーや会社の運営について関心がある
- 8 専門科目の勉強に熱心に取り組んでいる
- 9 専門科目の講義と実際の企業や経営者の話に関係性を感じている
- 10 経営学部で学ぶ意義を強く認識している
- 11 産学連携によるこのような講義について魅力を感じている
- 12 このような経営者による特別講義を有効的に聴講できている
- 13 大学の講義で、自分の関心や疑問点などを積極的に発言や質問できている

④共通設問に関する意識変化

(2-1)当初から起業を意識していると答えた学生の回答上の特徴(有効回答:23名)

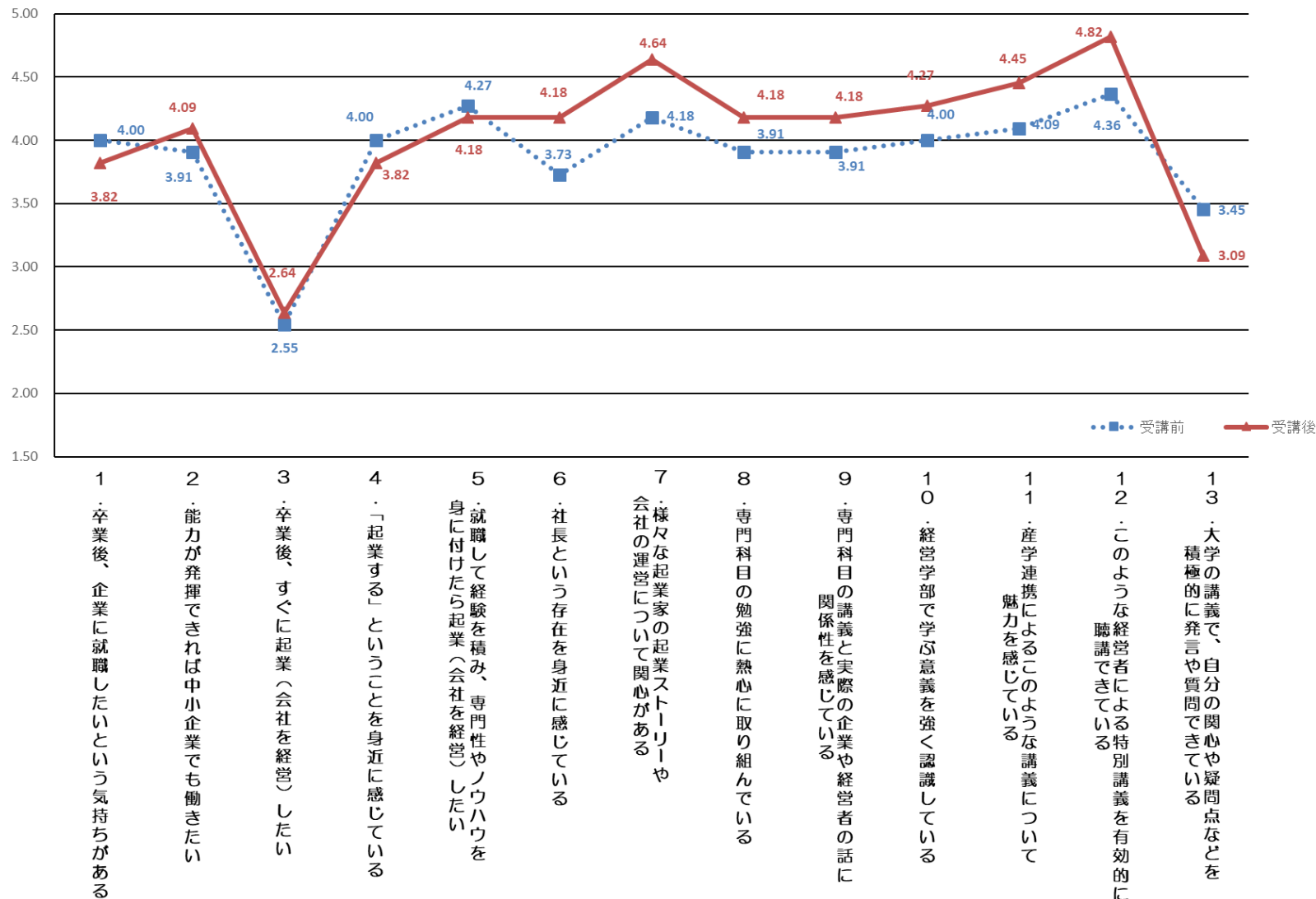
※対象:エントリーシートで「あなたは起業するということを、どの程度身近に感じていますか?」という質問に対して、「起業することを現実的なイメージとして保有している」もしくは「キャリアデザインの実践の一つとしてイメージしている」と回答し、「あなたは社長になりたいと思っていますか?」という質問に対して「そう思う」もしくは「どちらとも言えない」と回答した学生。



④共通設問に関する意識変化

(2-2)当初から起業を意識していると答えた学生の回答上の特徴(有効回答:11名)

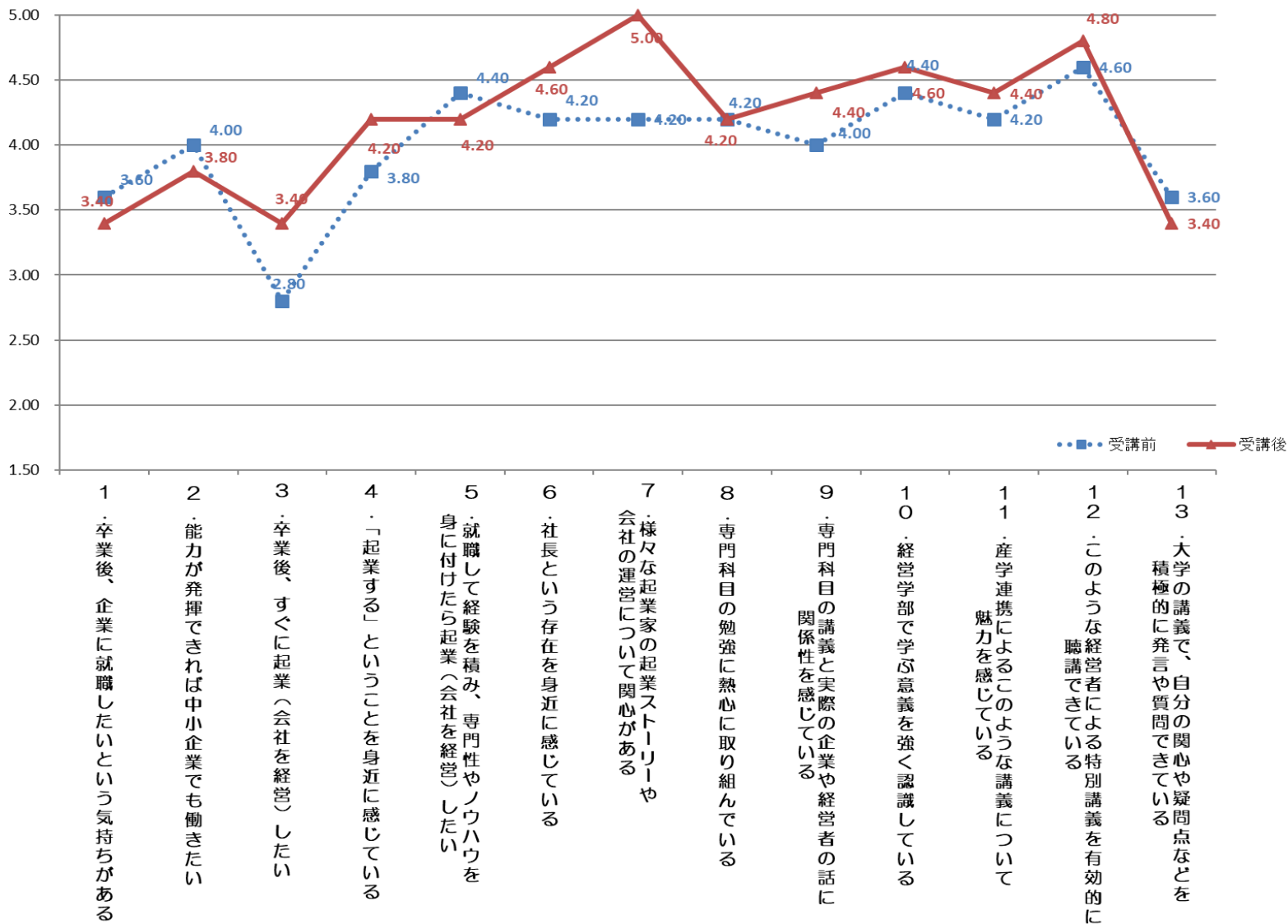
※対象:エントリーシートで「あなたは起業するということを、どの程度身近に感じていますか?」という質問に対して、「起業することを現実的なイメージとして保有している」もしくは「キャリアデザインの選択肢の一つとしてイメージしている」と回答し、「あなたは社長になりたいと思っていますか?」という質問に対して「そう思う」と回答した学生。



④共通設問に関する意識変化

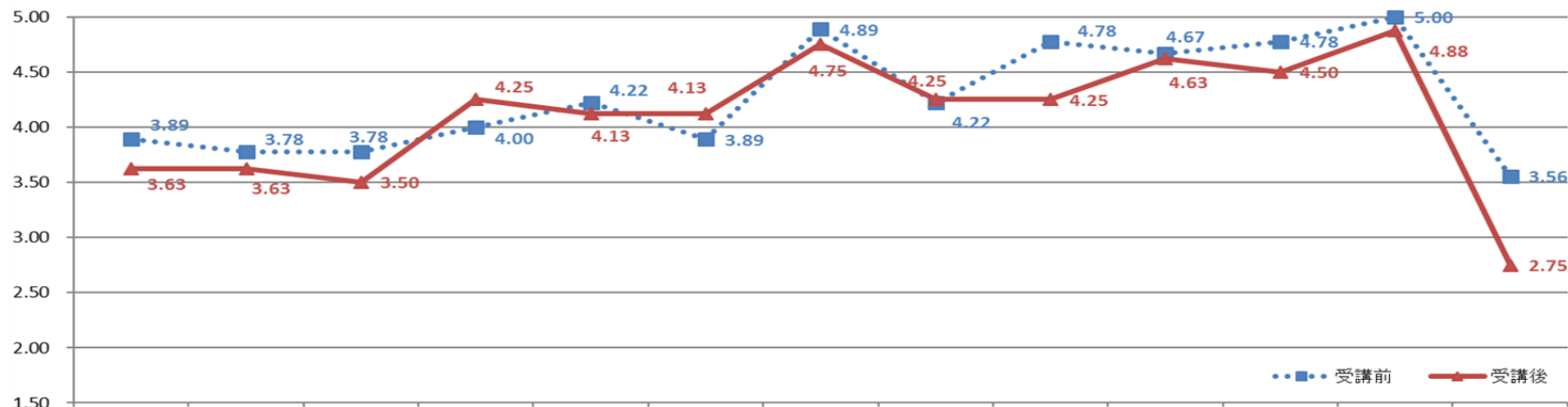
(2-3)当初から起業を意識していると答えた学生の回答上の特徴(有効回答:5名)

※対象:エントリーシートで「あなたは起業するということを、どの程度身近に感じていますか?」という質問に対して、「起業することを現実的なイメージとして保有している」と回答し、「あなたは社長になりたいと思っていますか?」という質問に対して「そう思う」と回答した学生。

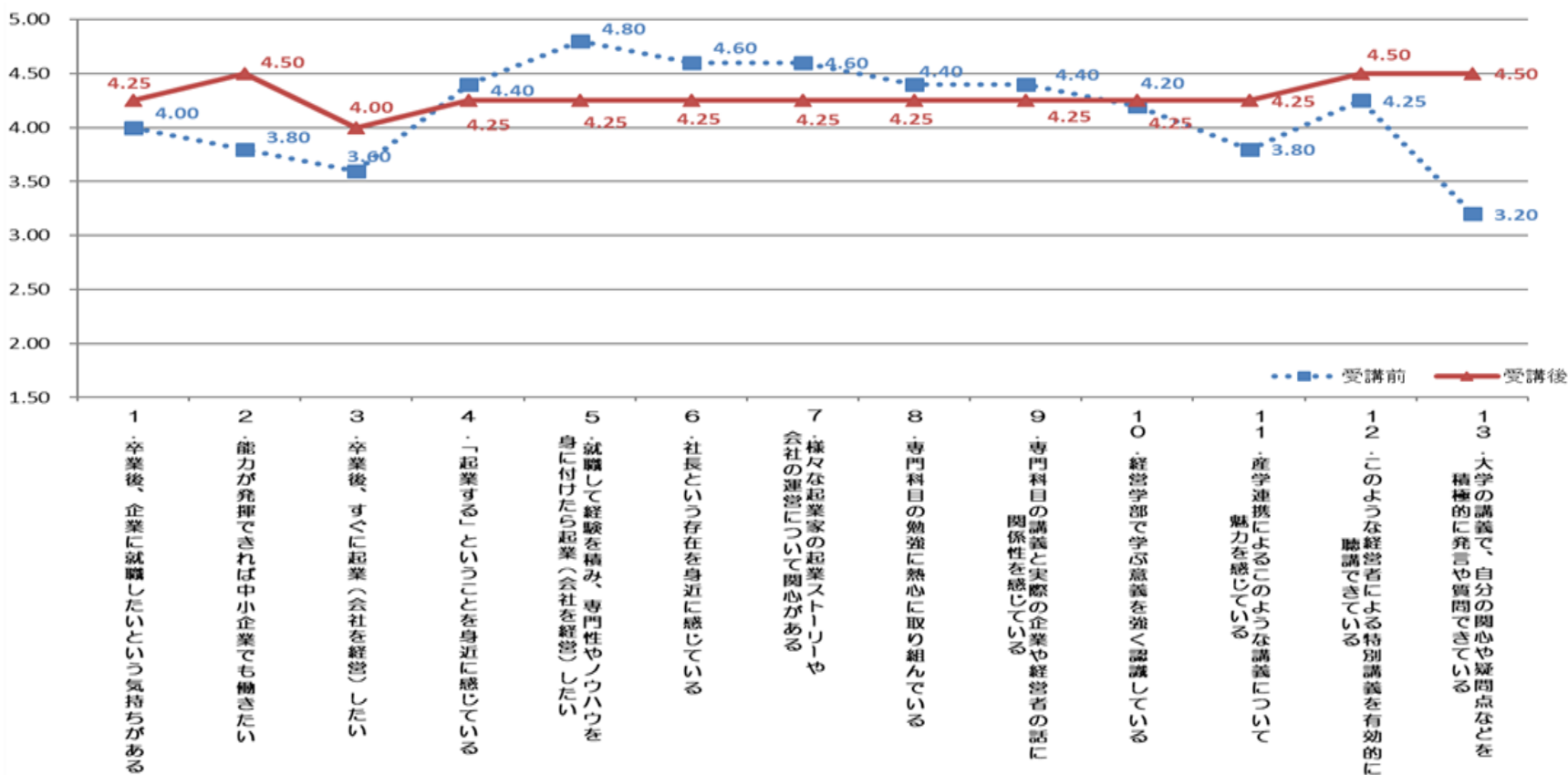


<参考> 2017・2018年度のデータ(2-3)

2017年度



2018年度

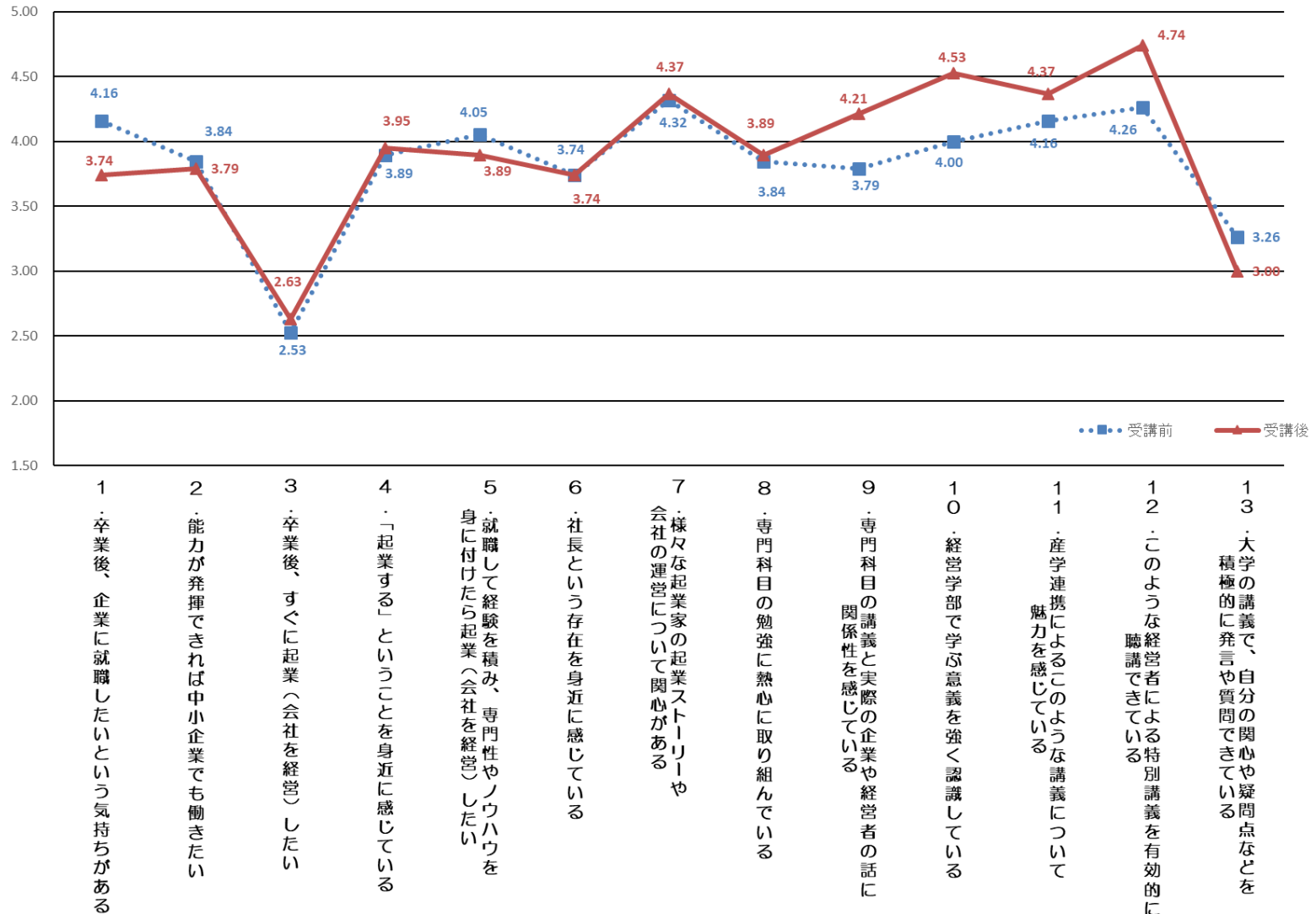


- 1 卒業後、企業に就職したいという気持ちがある
- 2 能力が発揮できれば中小企業でも働きたい
- 3 卒業後、すぐに起業(会社を経営)したい
- 4 「起業する」ということを身近に感じている
- 5 就職して経験を積み、専門性やノウハウを身に付けたら起業(会社を経営)したい
- 6 社長という存在を身近に感じている
- 7 様々な起業家の起業ストーリーや会社の運営について関心がある
- 8 専門科目の勉強に熱心に取り組んでいる
- 9 専門科目の講義と実際の企業や経営者の話に関係性を感じている
- 10 経営学部で学ぶ意義を強く認識している
- 11 産学連携によるこのような講義について魅力を感じている
- 12 このような経営者による特別講義を有効的に聴講できている
- 13 大学の講義で、自分の関心や疑問点などを積極的に発言や質問できている

④共通設問に関する意識変化

(3)保護者等に起業家や経営者がいると答えた学生の回答上の特徴（有効回答:19名）

保護者等に起業家や経営者がいる学生たちには、この冠講座が保護者理解に好影響を与えている。



④共通設問に関する意識変化

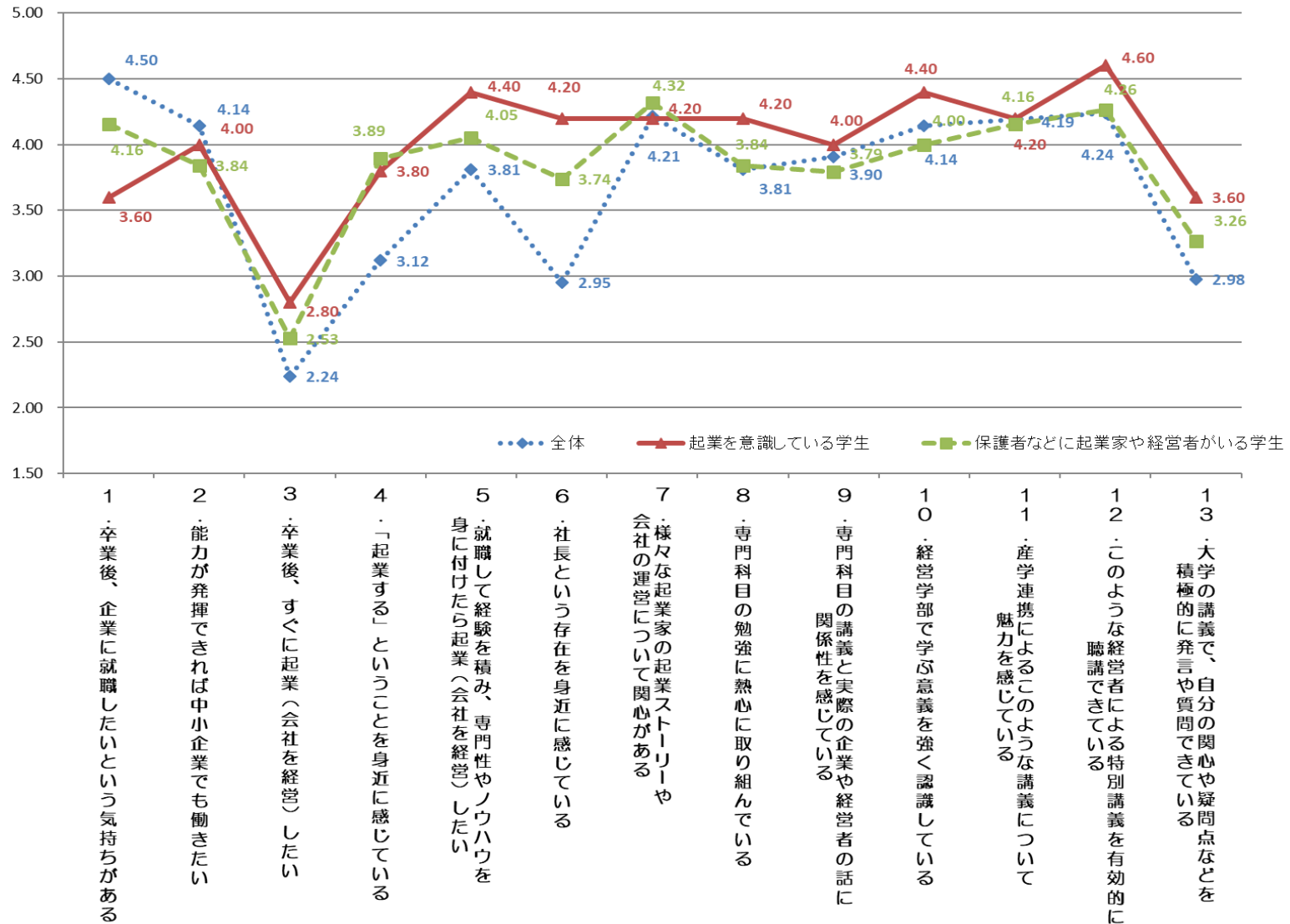
(4-1)上記の特徴ごとに見るアンケート時期による差異(履修前)

(全体 有効回答:42)

(※起業を意識している学生=(2-3)の対象学生 有効回答:5)

(保護者等に起業家や経営者がいる学生 有効回答:19)

※対象:エントリーシートで「あなたは起業するということを、どの程度身近に感じていますか?」という質問に対して、「起業することを現実的なイメージとして保有している」と回答し、「あなたは社長になりたいと思っていますか?」という質問に対して「そう思う」と回答した学生。



④共通設問に関する意識変化

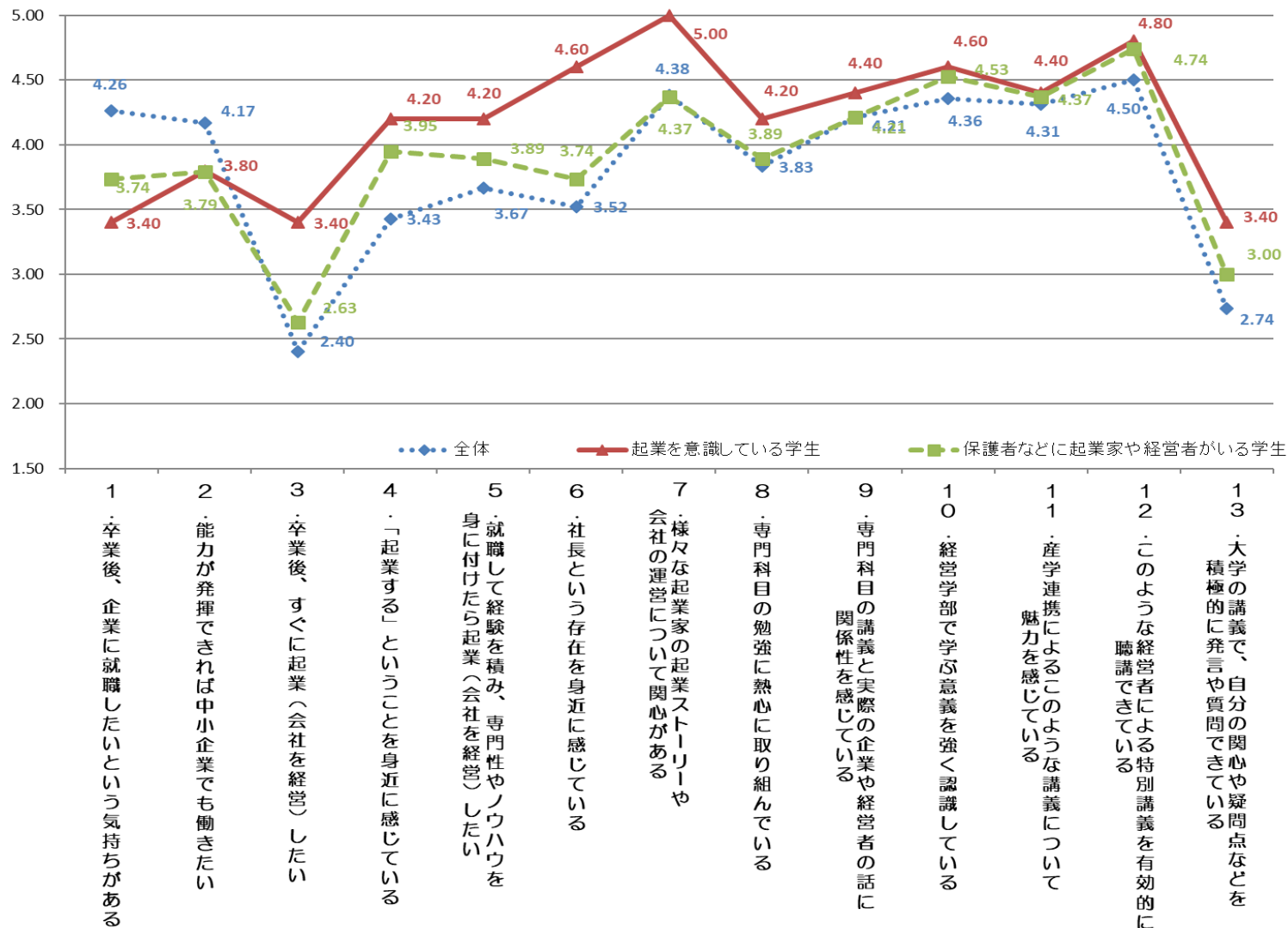
(4-2) 上記の特徴ごとに見るアンケート時期による差異(履修後)

(全体 有効回答:42)

(※起業を意識している学生=(2-3)の対象学生 有効回答: 5)

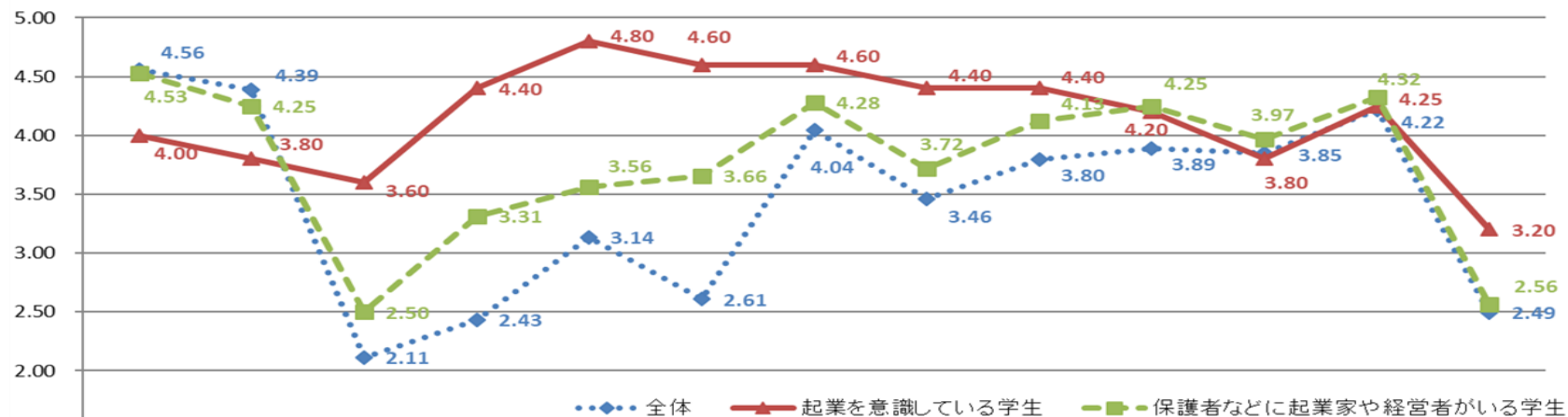
(保護者等に起業家や経営者がいる学生 有効回答:19)

※対象:エントリーシートで「あなたは起業するということを、どの程度身近に感じていますか?」という質問に対して、「起業することを現実的なイメージとして保有している」と回答し、「あなたは社長になりたいと思っていますか?」という質問に対して「そう思う」と回答した学生。



<参考>2018年度のデータ(4-1)(4-2)

(履修前)



(履修後)

